一般社団法人 発明推進協会
東京都港区虎ノ門二丁目９番１号　虎ノ門ヒルズ
江戸見坂テラス E-mail：kensyu-kai@jiii.or.jp

漏れの無い権利を取得するテクニック

～権利の空白エリアの可視化・権利化と、生成AIによる進歩性ストーリー作成～

１件の特許出願で製品をカバーすることは難しいです。その一方で、思いついた発明をやみくもに出願しても、権利の穴が発生し、製品を十分にカバーできない可能性が有ります。

本セミナーでは、発明者が持ってきたアイデアから、漏れのない権利網を作ることができるテクニックについてご説明します。

第１部では、権利の空白エリアを可視化することについてお話しします。具体的には、仮想例である「燃料電池バス」について、「燃料電池バス」の周囲にどんな権利の空白エリアがあるのかを確認する方法についてお話しします。そこで、「燃料電池バス」と仮想のサーチ結果との比較手法、その比較に基づく権利の空白エリアの見つけ方について解説を行います。なお、本セミナーは調査のセミナーではありませんので、調査方法の詳細についてはお話ししません。

第２部では、第１部で可視化した空白エリアを権利化する手法についてお話しします。第１部で可視化した空白エリアは、仮想のサーチ結果に対してぎりぎりを攻めたものです。そのため、空白エリアの権利化が容易ではなく、引例１＋引例２で進歩性が否定されそうな発明になりがちです。そこで、第２部では、「課題」「阻害要因」「有利な効果」をキーワードとして、出願時に進歩性を作りこむテクニックをお話しします。引例に記載されていない課題の設定、引例同士の組み合わせに対する阻害要因、阻害要因を上回る有利な効果、という進歩性ストーリーを出願前に検討し、明細書に盛り込むことにより、通常では進歩性がないと出願を諦めていた発明を出願及び権利化に導きます。

講　師	プロフィック特許事務所　弁理士(特定侵害訴訟代理付記) **谷　和紘**　氏 【プロフィール】 １９９９年　大阪大学工学部精密工学科卒 ２００１年　大阪大学大学院工学研究科精密科学コース修士課程修了 ２００１年　特許事務所入所 ２００２年　弁理士試験合格 ２００４年　シャープ株式会社入社　液晶技術の出願権利化業務に従事 ２００６年　特許事務所入所 ２０２３年　プロフィック特許事務所設立 弁理士会実務修習講師　明細書の在り方演習機械コース 弁理士会育成塾講師　機械コース 裁判所専門委員（2024年4月～） 知財実務情報Lab.専門家チーム 関西特許研究会クレームドラフティング研究班班長 知財塾相談役
日　時 （Zoomによるオンライン開催）	２０２６年１１月４日（水）14:00～16:30　途中休憩あり ※お申し込み受付は開催日２営業日前の正午までとさせていただきます。